



昔からあるのに、
新しいのは、
なんでだろう。

日本遺産のまち
愛知県
瀬戸市

“日本遺産のまち瀬戸市”をめぐる

「日本六古窯」とは？

平安・鎌倉時代に陶器生産を開始し、現代まで生産を続けている6つのやきもの産地を「日本六古窯」と言います。瀬戸は、常滑、信楽、丹波、備前、越前とともに日本六古窯の一つに数えられています。



■「日本遺産」とは？

日本遺産 (Japan Heritage) は、地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものです。

ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。



日本遺産ロゴマーク▶
日の丸は日本を表し、その下の縦格子のように見える繊細な線の集合は、よく見ると JAPAN HERITAGE の文字です。



■日本遺産に認定されたストーリー

きっと恋する六古窯-日本生まれ日本育ちのやきもの産地-

平安時代から今も連綿とやきものづくりが続く瀬戸のまちは、丘陵地に残る大小様々の窯跡や工房へ続く細い坂道が迷路のように入り組んでいます。

陶片や窯道具を利用した塀沿いを進むと、「わび・さび」の世界へと自然と誘い込まれ、時空を超えてセピア調の日本の原風景に出会うことができます。

